

## 中学部第■学年 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和7年9月18日（木曜日）3校時

場 所 中学部■年教室

指導者 T1：田中聡子 T2：武田幸美

### 1 単元名

「（生徒名）クッキング」開店！～手作りお菓子でおもてなし～

### 2 単元の目標

- （1）お菓子作りの手順ややり方を理解し、教師と分担しながら調理をする。
- （2）周囲の人からの意見を受け止めながら、より良いお店にするための方法を考え、自分の言葉でまとめて発表する。
- （3）手作りしたお菓子でおもてなしすることに期待感をもち、周囲の人との円滑なコミュニケーションを心掛けるとともに、進んで開店に向けた準備をする。

### 3 生徒と単元

#### （1）生徒の実態

##### ア 見え方の特徴

氏名	学年	遠距離視力	近距離視力	最大視認力	備考
A	■	右（0.03） 左 光覚	右（0.03）	右（0.2）／3cm	両小眼球 羞明あり

##### イ 主な学習状況

対象生徒は、各教科等を合わせた教育課程で学習している女子一名である。日常的に遮光眼鏡を着用しており、文字の大きさは通常24ポイントを使用し、対象物に近づいて見たり書いたりしている。中枢性運動障害により、手指操作や身体の動きに制限やぎこちなさがあり書字に時間を要するため、教師が代筆したり本人の声をタブレット型端末に録音したりして書字に代わる活動を行っている。聴覚が優位であり、耳からの情報を記憶することが得意で、人が話した内容をよく記憶していたり、動画共有サイトで歌を覚えたりすることがある。覚えた曲は身近な教師に披露し、得意なことを表現している。また、自分の考えを内容や順番を整理しながら話し、人前でも堂々と表現することができる。作業学習では、指先の感覚を活用し集中してビーズ通しに取り組んでおり、生徒が得意とする活動の一つである。

コミュニケーション面では、身近な話題を選び積極的に周囲の人に話し掛け、やりとりを楽しんでいる。一方で、これまで個別または少人数での学習機会が多く、日常的に大人とやりとりすることがほとんどである。そのため、様々な意見に触れる機会や周囲と意見を比較する機会は希薄である。大人とのやりとりの中では、偏った話題で一方向的に話すことが多く、意にそぐわないことを相手から言われたり、話し方や内容が気になったりするとそのことを受け入れられない態度を取ることもある。また、見えにくさから話している相手の表情が読み取りにくいこともあり、やりとりの中で誤解が生じることもある。

#### （2）単元観

本単元では、生徒の夢であるパティシエにつながる活動として、手作りしたお菓子で、店を開いてお客さんをおもてなしするまでの学習を行う。本生徒は、お菓子を作ったり食べた

りすることに興味・関心をもっており、将来はお菓子を作る場所で働きたいという願いをもっている。これまでお菓子を作った経験はほとんどなかったため、お菓子作りのイメージをもてるように、紙粘土をクッキー生地に見立て、クッキー作りの工程を体験した。クッキー生地の成形に興味を示し、畑に枝豆を植えていたことから枝豆のクッキーを作ることになった。生徒自身が育てた食材を活用することで、関心をもちながら活動することができること、また、学校での調理実習の経験や、母親の手伝いをよくしていることから調理に関する期待感や調理器具等の名前や使い方についての知識をもっているため、意欲的に活動できると考えた。

関わりの中での意味の捉え方や相手の気持ちの読み取りなど、コミュニケーション面の課題を克服するため、本単元では、関心の高いお菓子作りの活動や店の開店に係る活動を通して、接客中の注文や要望を確認したり、会話をしたりする等、様々な状況において関わりが必要な場面を設定している。接客の練習や様々な人を接客するプレ開店や本番の開店を通して、色々な意見に触れながら自分の接客の様子を振り返り、対応の仕方について考え、実践を積み重ねることで、日常生活において、様々な状況や場面で柔軟に関わる力が身に付くのではないかと考え、本単元を設定した。

### (3) 学習指導における留意点

#### ア 主体的に学習に向かうために

- お菓子作りから開店までの活動にイメージや見通しをもつことができるように、実際に手作りのお菓子を試食したり店の雰囲気分かる動画や写真を提示したりする。
- 意欲的に活動に取り組むことができるように、生徒が得意とする絵を描く活動を取り入れ店内の装飾物を作る活動を設定する。
- 自信をもって活動ができるように、生徒の気付きや工夫が見られた点を即時評価する。
- 開店までの一連の活動に見通しがもてるように、活動内容やスケジュールを視覚的に提示する。
- 相手を意識しながら適切な対応を考えられるように、接客時のロールプレイを行う時間を設定する。【深い学び】
- 学習を振り返り、成果や頑張った点を実感したり、次時の活動の意欲が向上したりするように、振り返りシートを準備し、共有する時間を設ける。

#### イ 自分を認めたり他者との考えを受け入れたりするために

- できていることや自分の良さを実感することができるように、接客の様子を動画で撮影し、良かったポイントを伝え、生徒の良さを認める場面を設定する。
- 自分と他者との評価を比較し、自分も他者も認め合うことができるように、校内の教師から接客の様子を「アドバイスシート」に記入してもらい、様々な意見に触れる機会を設定する。【深い学び】

#### ウ 状況に応じたコミュニケーションを図るために

- 色々な人や状況で対応できるように、プレ開店や開店時に来てもらう職員に対し、様々な状況を意図的につくるように依頼する。【深い学び】

#### 4 単元の指導計画

総時数 18時間

小単元名	主な評価基準 【評価方法】	時数
ア ずんだチョコクッキーを作ろう	<p><b>知</b> 調理器具や材料の名称や用途を理解し、レシピの分量を読み取り調理している。【行動観察】</p> <p><b>思</b> どのようなお菓子を作りたいか、自分の考えを言葉で発表している。【発言】</p> <p><b>態</b> お菓子作りの楽しさを感じながら、たくさんの人に食べてもらいたいという気持ちをもって活動している。【行動観察】</p>	4
イ 開店の準備をしよう	<p><b>知</b> 適切な接客態度が分かり、実践している。【行動観察】</p> <p><b>思</b> どのような接客をすればお客さんに喜んでもらえるかを考えながら接客練習をしている。【発言、行動観察】</p> <p><b>態</b> 開店することに期待感をもち、進んで開店に向けた準備をしている。【行動観察】</p>	11 本時 9/11
ウ 開店しよう	<p><b>知</b> お菓子やお店に関するお客さんからの質問に適切に答えている。【行動観察】</p> <p><b>思</b> 状況に応じた言葉遣いや態度で、臨機応変に対応している。【行動観察】</p> <p><b>態</b> 様々な人を接客し、手作りのお菓子を作って食べてもらえる喜びやうれしさを感じている。【行動観察】</p>	2
エ 振り返りをしよう	<p><b>思</b> お菓子を手作りしたり、お客さんをもてなしたりする活動を通して、感じたことを言葉で表現する。【発言】</p> <p><b>態</b> 次はどのようなお菓子を作りたいか、どのようなお店がよいか意欲的に考えている。【発言、行動観察】</p>	1

#### 5 本時の指導

##### (1) 本時の目標

前時のプレ開店を振り返り、接客するポイントを考える。

##### (2) 展開

ア 時間	学習活動 学習課題	イ 教師の働き掛けと留意点	ウ 評価基準、評価方法
5分	1 本時の課題を確認する。	(ア) 学習に見通しがもてるように、TV画面に学習内容と学習課題を提示する。	
	<b>学習課題：接客するときのポイントは何だろう？</b>		

10分	2 プレ開店の様子を見る。	(イ) プレ開店の様子を振り返られるように映像を場面ごとに区切り、周りの状況や生徒の発言や行動、態度面などについて言葉を加えたり、質問をしたりしながら動画を見る。(T1) (ウ) <b>自</b> 自分の頑張りを実感できるように教師から良かった点を具体的に伝える。(T1、T2)	
20分	3 アドバイスシートを見ながら改善点をまとめる。	(エ) アドバイスの内容が分かるように、顔写真や文字を生徒が見やすい大きさに提示する。(T1) (オ) アドバイスシートに示されていることを理解できるように、キーワードをカードにして分類する。(T2) (カ) 見つけた課題を次時の接客練習のポイントとして活用できるように、カードに示す。(T1)	<b>知・思</b> アドバイスシートに示されていることを分類しながら、接客面で気を付けるポイントが分かる。【行動観察、発言】
10分	4 解決方法を考える。	(キ) <b>自</b> 課題解決のためにはどのような点に気を付ければよいか導き出せるように、状況に応じたロールプレイをしながら考える時間を設ける。(T1、T2) (ク) ロールプレイを通して改善の様子が分かり、次時の接客練習に生かせるよう、ロールプレイを動画で撮影し、共有する時間を設定する。(T1、T2)	<b>思</b> 課題を解決するための考えを自分の言葉で表している。【発言】
5分	5 振り返りをする。	(ケ) 本時の活動に達成感を得られるように計画表を使って振り返る。(T1)	

### (3) 評価

ア 生徒…評価基準を基に評価する。

イ 教師

(ア) プレ開店の様子を振り返り、より良い関わりや接客をするために必要な事柄を理解できるような学習活動が設定されていたか。

(イ) プレ開店の様子を振り返りながら生徒自らが課題に気づき、課題解決に向かうための手立ては適切であったか。

#### 〈指導案表記の説明〉

・評価基準について

**知**は、知識・理解、**思**は、思考・判断・表現、**態**は、主体的に取り組む態度を示す。

・自立活動の指導と関連がある留意点については、文頭に**自**を書いて示す。

・対話を引き出すための働き掛け（発問、板書、教材等）は太字で表す。